

2019.7.10.

(1)

おい図書館

No.204

TEL 047-311-0886

発行
代表
青木 和子
松本市牧の原 1-10-4
104-416

4月20日(土)、松戸市立図書館子ども読書推進センターにおいて、第26回総会を開催しました。

本郷谷市長と臼井図書館長も参加して下さい、それぞれに挨拶を頂きました。引き続き、常世田良立命館大学教授の講演を聴きました。

「松戸市立図書館整備計画」を

もう一度確認したい！

武笠紀子

「おい図書館」の第26回総会に参加しました。

今年以来賓として本郷谷市長がみえて、ご挨拶を頂きました。そこで、2016年に「松戸市図書館

整備計画」が策定されたにも拘わらず、中央図書館（JR松戸駅東側の相模台の国有地を購入しての新拠点ゾーンに市庁舎と共に建設予定の市民会館などの複合文化施設）と東松戸の地域図書館（紙敷区画整理の旧65街区に建設予定の市役所支所と子どもの居場所との複合施設）の建設計画が進まないことについて質問しました。しかし残念ながら、「議会の承認が必要なので、なかなか進みません」とのこと、明確なお答えは聞けませんでした。

総会の後、常世田さんによるアメリカの図書館についての講演を聞きました。アメリカでは

「図書館は、自分たちのもの、自分たちの手でつくるもの」という考えがあるのに対して、日本では「公（国や県や市町村）がつくり、市民がサービスを受けるもの」との考えが一般的で、図書館にイメージするものが違うことをつくづく感じました。

ニューヨークの立派な図書館の話は脇に置いておくとして、振り返って松戸の図書館をどうしたら良いかについて考えてみました。

それこそ、常世田さんが審議会委員長に就任され、力を入れて策定された「松戸市図書館整備計画」だと思います。図書館の建設はもちろん、その中身についてもしっかりと注意深く見ていく必要があります。その整備計画とはかけ離れたとんでもない図書館の建物が設計されたり、既成の図書館そのままに、建物だけが新しくなったりしては本当に困りますから。

(2)

市長は、あいまいな言い方をしました。今年3月の市議会では、図書館を含む新拠点ゾーンの設計が行われる予算が決まっています。東松戸の複合施設建設にも予算はついていきます。建物の設計が始まるのは間違いありません。出来上がってしまつてからでは遅いので、今一度「松戸市図書館整備計画」を確認して、市長に要望書を提出する必要があると思いました。

図書館友の会全国連絡会

報告 青木和子

5月27日(月) 第13回総会と交流会が日本図書館協会で開催され、全国から18団体、13個人の計15名が参加しました。

午前中は総会。

2018年度活動報告・決算報告

・監査報告、運営委員及び監事選任、会費、交通費補助規定、2019年度活動計画案・予算案、その他自由討議が行われ、議案はすべて承認されました。

午後は交流会。

参加者全員から地域の状況や活動について報告され、意見交換をしました。

翌28日(火)は、国会への要請行動が行われました。

全国の有志の皆さんが、総務大臣及び文部科学大臣に宛てた要望書を携えて各省を訪問しました。また衆参両院の議員会館に国会議員の方々を訪ねて、要望書をお渡ししました。

有志の方々のご尽力に感謝申し上げます。

※各要望書は、3、4頁に掲載します。

映画紹介

青木和子

会報203号と共に、神田神保町の岩波ホールで上映された「ニューヨーク公共図書館」(上映期間は5月18日(土)〜7月5日(金))の案内チラシを同封しました。

3時間25分という長尺にも拘わらず、満席の連続だったようです。これまでの図書館のイメージを「これでもか!」と覆して、素晴らしい実践を見せてくれた映像に圧倒されました。

この後も各地で上映されるようですので、見逃した方は機会を促えてご覧になって下さい。

7月27日(土)14時、松戸市子ども読書推進センターで、「ウォーナーの謎のリスト」DVD上映会を開催します。大平洋戦争中、日本の文化財を守るために奔走した人達を追った記録です。どうぞ、お出かけ下さい!

令和元年5月28日

総務大臣 石田真敏 様

図書館友の会全国連絡会 代表 福富洋一郎
横浜市都筑区葛が谷7-1105
その他賛同101団体

地方自治を支える公立図書館の振興を求める要望書

私たちは公立図書館の振興発展を願い、全国各地で活動を行っています。国には公立図書館の振興について毎年要望をしてきました。この要望を真摯に受け止め、ご尽力いただいていますことに、心からお礼を申し上げます。

現在、地方公共団体は財政が厳しいため資料費などが削減されているところが多く、また、指定管理者制度導入はサービス低下をもたらし、公立図書館は疲弊し、困難に直面しています。

図書館は地方自治を支える重要な基盤です。その発展が地域を活性化させ、地域住民の活躍にもつながります。国が、地方公共団体の図書館の振興、発展のための施策を行うことが求められています。

今回、大きく3つの課題について次のとおり要望します。

ご多用のところ恐縮ですが、6月末日までに図書館友の会全国連絡会に文書でご回答ください。

1 指定管理者制度を公立図書館に導入しないようにしてください

貴省は平成28年11月の経済財政諮問会議において、図書館を「トップランナー方式」から除外すると表明された際に、指定管理者制度が公立図書館になじまないことを示し、調査研究機関としての重要性に鑑み司書を配置する、との図書館管理運営の基本を明らかにしました。後の国会において文部科学省とともにこれを答弁し、政府の考えを明確にしました。

しかしながら、その後も、図書館に指定管理者制度が導入されています。「指定管理者制度は公立図書館になじまないから導入すべきでない」ことを改めて示してください。

2 地方交付税の図書館経費の積算内容を豊かにしてください

多くの公立図書館では資料費の減額が続いています。これは、平成15年度以降、積算額が明示されていないことが影響しています。

図書館サービスが充実されるように、地方交付税の図書館経費の積算内容を豊かにしてください。また、地方交付税の図書館経費の積算根拠を明らかにしてください。

そして、貴省には平成28年度から市町村立図書館の図書館協議会の経費についても地方交付税の積算根拠に明記していただいたところですが、多くの図書館協議会では、会議の回数や委員の人数が足りず十分な協議ができていません。年に4回以下程度の会議では有効に機能しませんし、協議会委員の研修も必要です。協議会経費の積算内容を充実させてください。

3 指定管理者制度の導入に不正な思惑が働くことを防いでください

指定管理者制度を公立図書館に導入した行政の職員が、指定管理者の企業に雇用される事例がありました。指定管理者制度が民間への天下り先の確保のため不正に利用されないようにしてください。

連絡先 図書館友の会全国連絡会事務局長 船橋佳子
666-0135 川西市花屋敷1-31-25-4
電話&Fax (072) 741-4582

令和元年5月28日

文部科学大臣 柴山 昌彦 様

図書館友の会全国連絡会 代表 福富洋一郎
横浜市都筑区葛が谷7-1105
その他賛同101団体

公立図書館の振興を求める要望書

私たちは公立図書館の振興発展を願い、全国各地で活動を行っています。国には公立図書館の振興について毎年要望をしてきました。この要望を真摯に受け止め、ご尽力いただいていますことに、心からお礼を申し上げます。

現在、地方公共団体は財政が厳しいため資料費などが削減されているところが多く、また、指定管理者制度導入はサービス低下をもたらし、公立図書館は疲弊し、困難に直面しています。

国が、地方公共団体の図書館の振興、発展のための施策を行うことが求められています。

今回、大きく6つの課題について次のとおり要望します。

ご多用のところ恐縮ですが、6月末日までに図書館友の会全国連絡会に文書でご回答ください。

1 公立図書館の管理運営を指定管理者制度の対象とする施策、誘導助言などをしないでください

(1) 指定管理者制度を導入した図書館の調査を実施して、実態を明らかにしてください。

(2) 公立図書館の建設、運営などの計画に指定管理者制度導入が構想されている場合は、補助金、起債許可の対象としないよう各省庁に徹底してください。

2 公立図書館を機能させるために専門職員の配置をすすめてください

図書館に知識と経験を持った館長及び職員を配置することが必要です。専門職員を採用・養成する施策を実施してください。

3 公立図書館に図書館協議会の設置を促進し、その活動を活発にする施策などをしてください

図書館協議会は民意を図書館に反映させる重要な組織です。図書館協議会の正確な調査を実施して、実態と先進事例を明らかにし、設置を促進してください。

4 地方交付税の図書館経費の積算内容を豊かにしてください

図書館サービスが充実されるように、地方交付税の図書館経費の積算内容を豊かにしてください。市町村立図書館の図書館協議会の経費については、貴省のご努力により平成28年度から地方交付税に明記されるようになりました。しかし、多くの図書館協議会では、会議の回数や委員の人数が足りず十分な協議ができていません。年に4回以下程度の会議では有効に機能しませんし、協議会委員の研修も必要です。協議会経費の積算内容を充実するように努力してください。

5 JAPAN/MARCの普及を推進してください

全国の図書館が持つ書誌情報(MARC=機械可読目録)は、高品質で継続的に安定したもので共有されなければなりません。国民的なMARCと言えるJAPAN/MARCを普及し、図書館の質的向上を図る施策を実施してください。

6 MLA(博物館、図書館、文書館)連携が進む施策を実施してください

近年、諸外国ではいわゆるMLA連携が進展しています。我が国でも有機的な文化資産ネットワークが構築されるよう、図書館がその専門性を活かし、他機関が所蔵する資料の目録化・デジタル化を牽引する施策を実施してください。

連絡先 図書館友の会全国連絡会事務局長 船橋佳子
666-0135 兵庫県川西市花屋敷1-31-25
電話&Fax (072) 741-4582